

社会資本総合整備計画

防災・安全交付金

令和06年01月26日

計画の名称	呉市における災害に強いまちづくり（防災・安全）第2期													
計画の期間	令和06年度～令和08年度（3年間）											重点配分対象の該当	○	
交付対象	呉市													
計画の目標	<p>平成30年に発生した記録的豪雨は、市全域において多大な被害をもたらしており、令和元年9月に被災した地域の特性を考慮した「呉市復興計画（地区計画）」を策定した。この計画に基づき、安全・安まちづくりに繋がるインフラ整備を行う。</p> <p>天応地区は、車両の離合はもとより緊急車両等の通行が困難な狭隘な道が多く、家屋が連たんしていることから、緊急車両の通行や円滑な救助活動及び避難活動を可能とす安全で安心な生活道路を整備する。また、本地区は今後発生が予想される南海トラフ地震などの影響により、高潮や津波の発生時には大きな不安を抱える地区であることから、防災公園（一次避難場所）を整備することで避難場所及び避難経路として安心安全な地域づくりを実現し、災害に強いまちづくりを目指す。</p> <p>一方、安浦地区は土石流が至る所で発生し、集落へ至る道も寸断され、一時孤立したことから、災害などの緊急時においても通行が可能となる安全で安心な生活道路を整備する。</p> <p>さらに、盛土等に伴う災害を防止するため、盛土規制法に基づく勧告や命令等を行い、安全対策の実施を求める必要があるため、この勧告や命令等に必要の調査（既存盛土調査）を実施する。</p>													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		370	A	369	B	0	C	1	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0.27	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R6年当初		R7年末
1	地区内の防災道路整備率 対象：市道認定道路			
	地区内の防災道路整備率 対象：市道認定道路 （整備延長／狭隘指定道路延長）	12%	%	32%
2	地区内避難場所面積（高潮、津波の一時避難場所）			
	地区内避難場所面積（高潮、津波の一時避難場所）	6416㎡	㎡	8316㎡

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	A13-001	都市防災	一般	呉市	直接	呉市	-	-	被災地における復興まち づくり総合支援事業（天 応地区）	避難路整備（L=320m，W=5.0m ）避難路整備（L=80m，W=4.0 m）	呉市						34		-
	A13-002	都市防災	一般	呉市	直接	呉市	-	-	被災地における復興まち づくり総合支援事業（安 浦地区）	避難路整備（L=220m，W=4.0m ）	呉市						200		-
	A13-003	都市防災	一般	呉市	直接	呉市	-	-	盛土による災害防止のた めの調査	盛土規制法に基づく既存盛土 調査	呉市						18		-
	A13-004	都市防災	一般	呉市	直接	呉市	-	-	被災地における復興まち づくり総合支援事業（天 応地区）	防災公園整備（A=0.19ha）	呉市						117		-
											小計						369		
										合計						369			

C 效果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	C13-001	都市防災	一般	呉市	直接	呉市	-	-	被災地における復興まち づくり総合支援事業（天 応地区）	防災公園防災施設等案内板設 置	呉市						1		策定済
		非常時に避難者が迷わず避難するため、平常時から避難誘導標識等を設置し、防災意識の向上を図り、また、防災施設の使用方法等の説明看板は、避難活動を迅速に実施するためのもの																	
											小計						1		
											合計						1		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R06				
配分額 (a)	83				
計画別流用増 減額 (b)	10				
交付額 (c=a+b)	93				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	55				
翌年度繰越額 (f)	38				
うち未契約繰越額(g)	11				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	11.82				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	計画別流用で増額となったため				

## 事前評価チェックシート

計画の名称： 呉市における災害に強いまちづくり（防災・安全）第2期

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

[illegible]